



専門学生が広報センターを見学

自衛隊東京地方協力本部江東出張所（所長 江越3海佐）は3月10日、令和3年度一般曹候補生及び自衛官候補生採用試験の受験を予定している東京法律専門学校生30名に対し、自衛隊に対する理解、関心を深めるため、陸上自衛隊広報センター「りっくくランド」見学を実施した。

当初、りっくくランドの沿革・概要説明を受けた後、陸上自衛隊の装備品の見学、VR体験、3Dシアターを鑑賞した。参加者からは「部隊についての詳しい案内があり分りやすかった」、「日常では体験できない多くの事ができ就職活動に活かしたい」等の声のほか、「テレビでしか見たことがなかった装備品を直接見学できて良かった」との感想が聞かれた。また、隣接する振武臺記念館では旧陸軍予科士官学校にまつわる

数々の展示品や、旧軍関係の資料などを研修して朝霞駐屯地や郷土の歴史を学び、自衛隊の勤務に対する理解を深めていた。

江東出張所は、各種活動の制約を受けるコロナ禍においても創意工夫し、防衛省・自衛隊の活動について理解を深化させ、所員一丸となって任務に邁進していくと述べている。



区長らが入隊入校予定者を激励

自衛隊東京地方協力本部足立地域事務所（所長 松本2等陸尉）は3月11日、足立区役所において開催された「令和2年度足立区自衛隊入隊入校予定者激励会」を支援した。

激励会は、足立区及び自衛隊協力3団体（自衛隊募集相談員連絡協議会 足立支部・東京都自衛隊家族会足立地区会・東京都隊友会足立支部）の協賛により開催され、足立区から入隊または入校する26名の新たな門出を祝福した。

近藤足立区長からは「国を守るといふ崇高な職に就くにあたり、厳しい訓練等に臨むことになるかと思いますが、同じ仲間と助け合い頑張ってください」との激励の言葉が送られ、激励会に参加した入隊入校予定者達は、「入隊を迎えるにあたり、より気持ちを引き締め、自衛官として頑張ろうと思おう」と決意を語った。

足立地域事務所は、引き続き自治体・協力団体と連携した自衛隊の普及活動を実施し、隊員の募集を通じて自衛隊の組織力の維持に貢献していくと述べている。

